

高齢者の「外出支援」に思うこと

「中日新聞」10月9日付に、「鈴鹿の庄内、椿地区～高齢者の外出共同支援～専用車両用意、12月から」の記事がありました。

鈴鹿市は、クルマを運転できれば快適に暮らせる街ですが、クルマを手放せば、とたんに生活に困ってしまう街です。昨年来、各地域の地域づくり協議会が主体になった助け合い活動の一環として「病院・買い物付き添い」活動が広がっています。でも問題と思うのは、クルマも、事故の処置も、有償ボランティアさんの負担となっていること。新聞で紹介された庄内、椿地区では、クルマも保険も誰名義かは知れませんが、運転手の個人持ちでないことは確かで、一歩前進ともとらえられます。

市内各地で、このような有償ボランティアさんによる「外出支援」が広がっています。でも、鈴鹿市の「外出支援」がボランティア任せでいいのでしょうか。末松市長は「公共交通サービスの充実」を掲げています。いっこくも早い実現、実証実験が待たれています。（橋詰圭一）

春日井市でコミュニティバス実証実験のニュース

10月14日、NHK朝のニュースで「春日井市がADルートでバス運行」が目にとまった。ニュースの中で、「こういう乗り物があると出歩きたい」（利用者）、「出かけることで、より健康に生活を送ってほしい」（市担当者）のコメントがいいですね。

ネットで調べると、「はあとふるライナーミニ実証実験」として詳しく載っていた。第1弾：定時定路線型バス（8月9日）、第2弾：予約型バス実証実験（10月11日）と、それぞれ無料期間、有料期間を設けて実証実験が行われるようだ。

鈴鹿市もこれくらい積極的な実証実験を行ってほしいものだ。また、人口密度の低い鈴鹿市では、定時定路線型バスが適さないことは、実証実験を行うまでもなく明らかだ。コミバスの会が提案しているような予約型（デマンド）バスの実証実験がいま求められています。（橋詰）



早く実現したいものです。（辻井良和）

★「無料」バスで市民に喜ばれ、成功しているのは、三重県度会郡玉城町の「元気バス」や、愛知県刈谷市の「かりまる」バスです。★玉城町では、たぐさんの高齢者の方の「町の健康教室」や町営の温泉施設「弘法温泉」の利用が多く、町民の健康増進に大きな効果が出ています。もちろん買い物ものや病院への利用も多く、買い物もの先から帰りの利用も電話予約で簡単にできて迎えにきてくれます。★愛知県刈谷市は細長い地形で、各地の市役所の施設と市役所を結ぶ6本の路線が「無料」で利用できて、市民の交通費は殆ど無料で済んでいます。人口は15万3千人で、何と利用者数は年間70万人にもなります。驚きの利用状況です。運転は民間バス会社に委託しています。★「無料」なら、同じ財政負担でも、利用者が多くなり、一人当たりの費用は、無限に安くなります。それだけ市民の「便利」が増え、喜びが大きくなります。これが費用対効果の上でも優れた政策と言えます。★末松市長は、先の市長選挙の公約に、高齢者を中心に交通弱者対策としての市内バスを取り入れてくれました。また、市民に喜ばれる市内巡回バスの検討を始めたいと表明されました。私たち「コミバスをよくする会」は、この公約を実現しようと応援しています。

鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース （第31号・2020年11月発行）

発行：(略称)コミバスをよくする会
事務局：辻井良和 方
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36
電話 386-0529 FAX 386-0646

ありがとう!! 2,874筆!! 1ヶ月間で

住民の46%の思いをこめた 「石薬師コミバス署名」を市長に手渡しました。

石薬師地区コミバス会員3名が呼びかけ人となり、9月から取り組んできた石薬師コミバス署名と要望書を10月29日、末松則子鈴鹿市長に手渡し、短時間でしが懇談しました。

石薬師地区だけで2,874筆集まりました。人口6,200人の地区で住民の46%方が署名いただいたのです。市長も署名をめぐりながら、その数の多さに驚いていたように思えます。署名活動の思いをそれぞれ語りました。それを聞いていた市長さんは、同席した担当部長と課長に「しっかりと、この声を聞いてよ！」と指示され、署名に込められた住民の思いを、しっかりと受け止めていただきました。

この間、石薬師地区で20ある自治会のうち

12の自治会が、チラシを「広報すずか」と一緒に家庭に届けたり、署名用紙を回覧板で回していただくなど、協力していただきました。それ以外の地域では、会員がチラシを各家庭に配って、署名用紙を持って訪問してまわりました。多くの家庭で「がんばってください」「よろしくお祈りします」と励まされ、地域住民の方の期待の高さがピンピンと感じられる、1ヶ月間の署名活動でした。

署名と要望書とともに、すぐにでも実行できる「運行企画案」も手渡しました。この内容を検討してもらって、後日その報告を受けることになります。期待して待ちましょう！

ご協力ありがとうございました。



皆さんの思いを 市長に届けました。



いつでも、誰でも、どこへでも行ける、コミバスの実現が強く望まれています。今回は1万2,000余の署名を末松市長に届けました。「市民の思いを重く受け止めます」との市長の言葉もありました。

今回は、市内でも交通の便が悪く生活交通の要望も強い石薬師地区で、1日も早く実現してほしいと、有志で署名活動を展開しました。

石薬師地区連合会・山下会長のアドバイスも頂き、各自治会の判断で協力もありました。ご協力いただけない自治会もありましたが、住民の皆さんは心良く署名していただきました。

約1ヶ月の間には、何本かお電話いただいたりもしました。「私に協力できることはありませんか?」「私、協力します!」「私、運転しますよ!」たくさんの声かけも頂き、元気ができました。とても、うれしかったです。

私は、鞠鹿野、アートヒル、栗峯、上田新田、山の原、山の花、上田本里自治会の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

10月29日に、皆さんの思いを市長に届けました。また、年内に市長と懇談もする予定です。これからもご協力をよろしくお願いします。

(上田町・田中 美代子)



『ありがとう!』と 感謝された署名活動

自由が丘の代表として名前を載せてもらった以上「がんばろう!」という意気込みで、署名用紙の配布と、署名の回収をしました。

「足立さんたちなら、なんとかしてくれるだろう」と住民の強い要求の声がありました。ご近所はもちろん、団地内の遠いところからわざわざ持ってきてくれた方は、30名を超えていました。「ありがとう!」と感謝されました。「ゴミ集積所にバス停をつくりたいんです。300メートルくらい歩いたらいいところに、つくりたいんですよ」と話しをすると「それは助かる」と、反対する人はなく取り組めました。

10月29日には市長へ、みなさんからいただいた署名を届けました。一日も早く、コミバスを走らせて欲しいとお願いしました。ずっしりと思い署名を手にした市長は、前向きに考えてくれそうでした。(自由が丘・足立 房枝)

みなさん同じ思いで、 つつい話し込んで

65才を過ぎた頃から、運転をやめる時期について考えています。車をやめたらどこにも行けないなんていう生活は嫌です。私の住んでいる自由が丘は、車がなかったらどうしようもないところ。

今回、署名で各戸を回らせてもらって、みなさん同じ思いでいることを、ヒシヒシと感じました。「コミバスが通ったら、みんなでバスに乗って出かけよう!」なんて、つつい話し込んでしまいました。いつまでも元気で暮らせるために、コミバスを必ず走らせるということを目指し、微力ですが頑張りたいと思います。

(自由が丘・桑原 千香子)



うれしいことばかりの 署名活動

今まで、コミバスの運行のために活動されているのを見ただけだったのですが、今回の署名活動に何かお手伝いさせてくださいとお願いしたところ、知った顔のご近所回りの署名を回収させていただきました。

各戸をお伺いすると皆さん口を揃えて「ここは車がなかったら動きようがない」と言われ、「是非とも実現に向けて頑張ってください!」と励まされたり、家の外の道路まで追いかけてきて「暑いからこのジュースを飲んで」と差し入れをいただいたりと、うれしいことばかりでした。

沢山の署名をいただいた感謝と「何とか早く住民の足を!」の多くの切実なお声が無駄にならないように、コミバスの運行の早期実現に向け、活動してゆかなければいけないと思いました。(自由が丘・前田 由紀子)

★三重県玉城町を走る「元気バス」、
スマホで動画をご覧ください。↓↓↓



こんなコミバス
がいいですね。

早期に石薬師地区の コミバスの運行実現を!!

9月15日から10月15日までの一カ月間、まだ残暑の残る中、「石薬師地区に無料のコミュニティバスの運行を」の賛同者署名を夫と集めて回りました。

協力していただける自治会は、自治会長さんをお願いして回覧してもらいました。その際、ある自治会長さんは、署名が全家庭に配布されるように広報に挟んで配布をしてくださいました。お陰でたくさんの署名を集めることができました。

自分たちで回ってという自治会は、一軒一軒、二人で戸別訪問をして、お願いをして回りました。行くところ行くところ、どの家も私たちの話を熱心に聞いてくださり、快く署名をしてくださり、帰り際には、「よろしくお祈りしますね。」「ありがとう。」の言葉をかけてくださり、こちらがかえって励まされ、元気をいただきました。

若い人が多く住む団地の一画でも、どの家も署名をしてくださり、家族全員の署名をしてくださる家がほとんどでした。800余りの署名が集まりました。訪問していく中で、断られた家は、数軒だけです。賛同署名を集める中で、多くの人たちがもっと便利に利用できる移動手段を望んでみえるんだなあとあらためて感じました。石薬師に住む地域の人たちの要望に応じて、一日でも早い無料のコミュニティバスの運行ができるように望んでいます。

(石薬師町・萩森 美知子)

